

みんなとともに笑顔いっぱい - 「101」新たなるステージへ -



みんなとともに



本校 web ページのアクセス数は「140,000」を超えました。ちょうど2年前には「14,000」を超えたことを「学校だより」で報告していますので、2年で「10倍」の数になりました。多くの方に見ていただいていることは励みになります。もしかすると、本校関係者以外の方も見ているのかもしれない。ならば、その宣伝の効果が出て「児童数がどんどん増えないか」と妄想しています。



今後の「学校行事等」について [その2]

「運動会」と「学習発表会」、この二大行事をどうするか、課題として残っていました。そして「創立百周年記念式典」も。現段階では、次のような方向性で考えていますので、お伝えします。なお、関係団体との協議が必要ですので、今後変更になることもあり得ます。

【「学習発表会」「運動会」「創立百周年記念式典」】（現在案）

- 1 「学習発表会」は、密になることを回避できないので行わない。
なお、「発表会的な内容」は、授業参観の折などの機会を生かして、学級ごとに行う。
- 2 「学習発表会」に替え、「清明フェスティバル」と題した運動会的な内容の行事を行う。
〈案〉10月24日（土） 土曜授業日（午前） 校庭で
第1部 下学年の部 第2部 鼓笛パレード 第3部 上学年の部
* 雨天時は、次週の平日に行う。
- 3 「創立百周年記念式典」を、10月25日（日）に開催する。
なお、記念式典への児童の参加は、学年を限定する。
* 記念式典への参加の有無にかかわらず「登校日」。10月26日（月）が繰替休業日。

※9月26日（土）を「土曜授業日」とする。（5月に行わなかった分）

→ この日に保護者向けの「教育講演会」を計画している。講演を聞いた後は、子どもと一緒に下校していただきたいと考えている。

なお、講師は、福島医科大学 横山 浩之先生に依頼をされていて、今後詳細を詰める予定である。

【校長のつぶやき】 その34 「運動着問答」

毎年、今ごろの季節になると、担任から次のような話が出される。「運動着が汗臭くなるので、週の半ばに持ち帰らせた。乾かないときは、白のTシャツの着用を認めてもらいたい」と。これに対する私の答えは「運動着以外の着用は否」である。その理由をちゃんと説明したことはない。おそらく「わからず屋の校長」と職員は思っていることであろう。（納得できる説明をする自信が私にはない…）

その理由は、「運動着の購入システムは業者によって支えられている」ことに由来する。本校の運動着取扱業者は、三河台小学校区の「やぶうち商店」である。やぶうち商店では、運動会などの行事の時期や毎年の販売状況から予測をし、在庫を抱えながら本校保護者の来店に備えている。在庫が少なくなると、運動着を製作している「クラロン」に発注する。値上げをせずにかんばってくれていたが、工場からの仕入れ値が上がり、値上げせざるを得なくなった。そのときでも、本校に来て、事前に説明をしてくれている。

もし、私が、（たった一日のことではあるが）「運動着以外も可」と答えたとしよう。それは、いずれ関係業者の耳にも入るであろう。私には、それは「信頼関係の崩壊」の始まりであり、ひいては「運動着の購入システムの崩壊」の始まりにつながるのではないかと危惧してしまう。

ある人はそれを「業者との癒着」というかもしれない。でも、考えてみてほしい。本校の運動着は本校の保護者にしか売ることができない。本校が教育活動中の運動着着用を推奨している限り、この購入システムは維持していかなければならない。

「たかが運動着、されど運動着」である。私が本校にいる間、職員からまた同様の意見があっても、私の答えは決まっている。「否」である。ただし、「汗臭い運動着を家に持ち帰って洗ってくること」は“大賛成”である。週の半ばと言わず、毎日洗濯してもらえると、子どもたちも気持ちがよいであろう。

そのためには、運動着が2枚必要である。経済的なことで申し訳ないのだが、まだ複数枚用意していないご家庭は、子どものために何とか工面していただけないだろうか。これが“校長の本音”である。ただし、神に誓って、業者からは一銭ももらっていないことを申し添えておきたい。